
日本学会議の 新しいビジョンと変革

日本学会議
www.scj.go.jp

学アカデミア信頼の確立： 21世紀のパラダイム

日本学術会議
www.scj.go.jp

SCJを取り巻く環境と新ビジョンが必要



「新しい」日本学会活動の活動

- 国内の科学者への期待
- 学会活動の存在意義
- 科学への国際的な期待の高まり
- 会員の活動意欲の高まり

国内の科学者への期待 - 1

日本学術会議の活動

- 学会のあり方と学術会議
- 国際学会活動の支援、後援、共催
- 学術誌のアーカイヴィング、「科学は文化」
 - > 学術団体と公益法人法
 - > 学会群の自発的連携
 - > 学会活動の支援、協力
 - > 学会の意義、学会誌のあり方等

国内の科学者への期待 - 2

日本学術会議の活動

しかし、

科学者の不正行為

- 平成15年の報告書
- 公開シンポジウムの開催
- 科学者の規範等の委員会活動
- OECD委員会

> 第3次科学技術計画での期待

科学への国際的な期待の高まり

- G8への提言
 - ICSUへの貢献 (CSPR, Union、アジア太平洋支部)
 - IAC, IAP, IAMPでの活動
 - アジアへの貢献 (SCA)
 - 国連活動への関与 (Ubuntu)
-
- > 各省庁との意見交換の場を設定
 - > 国際会議の主催、共同主催等

科学への国際的な期待の高まり

- G8への提言

- 2005年の高い評価、RS, NASとの打ち合わせ
 - 2006年は4月にMoscowへ

- IAC(1月), IAP(3月), IAMP(4月)に理事会

- アジア学術会議

- 4月にインドで開催

- 持続可能なアジアへ向けた4つの報告書

- 国連活動への関与(Ubuntu)

- > 「科学者は教育者」という宣言、UN-CSD承認

日本学会会議の存在意義

- 科学者コミュニティへの自律促進
- 学会のあり方への連携
- 学術と科学技術に関する意見表明
- 科学と社会についての行動
- 各種政策への提言、選択肢の提示
 - > 地区会議、地域振興フォーラム
 - > 政府統計データのあり方への報告書
「課題」への取り組み
 - > サイエンスカフェ
 - > 総合科学技術会議との連携
エネルギー、学会あり方等

会員の活動意欲

- 連携会員の参加と活動拡大
- 会員間の理解を進める
- ホームページの充実と活用
- メーリングリストの活用
- 「学術の動向」の普及、宣伝、活用
- 会員によるアンバサダー活動
 - > 地区会議、地域振興フォーラム
 - > サイエンスカフェ
 - > そのほかの広報、社会活動

「新しい」日本学会の活動

- 国内の科学者への期待
- 学会の存在意義
- 科学への国際的な期待の高まり
- 会員の活動意欲の高まり

一人ひとりが何をするのか、何ができるか！
会員も連携会員も「アンバサダー」です！